

断水事故発生!!



大型連休を控えた4月28日夕、熱海市、函南町方面に給水している中島浄水場（三島市中島）で漏水が見つかり、両地域への給水がストップ。

断水の影響は函南町でダイヤモンドを中心に最大2600所帯に及び、断水は5月1日午後まで続いた。区民の会と管理センターは断水という緊急事態に対し、対策本部を設置、断水情報を区民の会の全戸配布

ルートを通じて周知徹底する一方、節水・貯水呼びかけた。また同時に、町に給水車の配置を要請、住民に給水を実施するなど万全の態勢を敷き対応をした。幸いだったのは温泉が使用できたことで、結果的には大きな混乱もなく、無事終息した。ただ、連休を利用しようと訪れた別荘の所有者の中には突然の断水情報に戸惑う人も。

漏水の原因は県営水道中島浄水場の送水管と送水管を繋ぐゴム製の「可とう管」の破損。同浄水場は復旧作業に全力を挙げたが、作業は難航し、完全復旧は当初予定より大幅に遅れ、5月1日午後15時までにまだ復旧できなかった。

この間、管理センターと区民の会はセンター売店脇の駐車場にテントを設営、早朝6時から夜7時まで給水サービスに当たり住民の要望に対応した。期間中の対応件数はポリタンクなどによる給水228件、宅配が41件の合計269件に上った。

常住/別荘の比率では47対53でやや別荘の方が上回った。

水道が普及してから約半世紀、施設の老朽化が進んでいることから、今後、また同様の事故が起きることは避けられない。当局に施設の更新を急ぐよう強く要望するとともに、今回の事故を教訓に万一の場合に備える準備を心掛けたい。

深刻な漏水問題

住民の関心が高いダイヤモンド地区での水道の漏水問題で、地区内での水道の有収率は37.18%、つまり、漏水率が62.82%になっていることが分かった。給水されている半分以上が漏水で無駄になっていることになる。（平成18年度の有収率は34%）

これはこの程発表された東部簡易水道（ダイヤモンド地区）の平成19年度決算で明らかになったもので、ダイヤモンド地区はその地形上の特殊性から漏水率の高さは以前から指摘されてはいたが、他の地域と比べて異常に高いと言わざるを得ない。

この点について、函南町水道課は主たる漏水は本管部分から各家庭に接続されている給水管部分で発生していると説明しているが、平成23（2011）年までに漏水率を30～40%にまで抑えると改善を約束した。（昨年11月の町長懇談会）このための費用については水道基金積立金（平成20年3月末現在残金約1億8,750万円）を充当するという。

さらに今年度については、漏水調査区域を780区画にまで拡大、漏水箇所が判明次第即対処するとしている。また、路面がいつも湿っている、不自然な湧水が見られるなど気付いたら通報を、と協力を呼び掛けている。

屋外掲示板を増設

地区住民への情報の周知を図るため新たに10か所（ゴミステーション脇）に掲示板を設置することになった。これは自治会総合センターのコミュニティー助成事業の対象として実施されるもの。

現在ダイヤモンド地区の屋外掲示板は「森の里」前の1か所だけで、不十分だった。設置時期は近く通知される予定。

夜の空にホタルの舞い



今や、ダイヤモンドの夏の風物詩となったホタル。桜公園人造湖から野鳥公園の菖蒲園に至る桜川流域で今年も放流されたホタルが多く飛び、6月7日（土）の夜は訪れた多くの人が幻想的な

ホタルの光に魅了された。「ダイヤモンド・ホタルの会」会長の大畠三四郎さんによると、今年も菖蒲園付近を中心に3か所で合計200匹を放流したという。ホタルの放流を始めてから10年以上たち、ダイヤモンド育ちのホタルも少なくないそうです。

ダイヤモンドのホタル放流は住民によるホタル基金で運営されており、さらに充実させて将来はダイヤモンドを一大ホタルの里にしたいと情熱を燃やしています。

地震対策で合同訓練

東海地震を想定した函南町の「東海地震対応合同訓練」が5月31日（土）函南中学校の旧体育館で行われた。この訓練には町役場、町消防団、警察、消防署のほか、順天堂静岡病院災害派遣チームなどから総勢250人が参加。

ダイヤランドからも「区民の会」「自主防災会救護担当者」を中心に10人以上が参加した。

訓練は倒壊した建物に中学生が生き埋めになったことを想定し、いかに素早く救助し、いかに応急看護を効果的に行うかといった救急看護のやり方に重点を置いて実施されたのが今回の特色。また、中国四川省での大地震の教訓から地震が発生した場合、関係する各機関の連携の重要性を確認する一方災害に対する住民の意識の向上を図ることも大きな狙い。

ダイヤランド地区も中山間地であり孤立する確率は大きい、日頃から「備えよ常に」の気持ちを忘れないことが大切。



○防犯灯の増設決定!!

かねてから要望が出ていた防犯灯の増設がこの程決まり、遅くとも秋ごろまでには工事に入る。（一部については既に設置済み）今年度分として設置が決まったのは、ロットNo63-60付近など5か所。防犯灯については昨年の段階で区民の会は6か所での設置を函南町に要望していたが、1か所については今年度は見送りになった。設置が決まった5基のうち2基は町によるもの、3基は東京電力からの寄贈。

区民の会では、今年度も引き続き見送りになった分も含めて町に設置を要望していく方針。



○追い越し禁止の標識を設置へ

丹那新山インターから熱函道路に入る地点に追い越し禁止の標識が設置されることがこのほど正式に決まった。

この付近は熱海方面に向かう本線の車の追い越しが特に目立ち、ドライバーの間から危ない思いをした、という声が数多く寄せられていた。これを受けて区民の会は昨年7月丹那地区のご

協力を得て同地域に追い越し禁止の標識を設置するよう要望書を提出していた。

本年度中に設置される見通し。

ゴミの減量化に向けて — 春のグリーン作戦 —

恒例の春のグリーン作戦（環境美化部会主催）が5月25日に実施された。この行事は今年で5回目だが、当日はあいにくの雨で戸外での清掃活動は急きょ中止、ホールで家庭ゴミの処理をめぐる問題点について説明、話し合いを行った。

特に、家庭で発生する生ゴミについては「EM ぼかし」で堆肥化处理するとゴミの量を半分以上にできるなどという実際の体験談を踏まえた興味深い話も披露された。

最後は鈴木 幹さん作・演出、函南中学生徒によるレクリエーション（手品・クイズ・劇など）が行われ、笑いに包まれる中で終了。



---お願い---
**会員加入
一人でも多く!**

●函南町社会福祉協議会（会長 柿島肇）では平成20年度の一般会員の加入を呼び掛けています。同協議会は「心ふれあう豊かな福祉」を目標に活動を行っており、一般会員の会費は年間500円（一世帯）。（期限7月31日）

●赤十字の事業に協力を

日本赤十字社函南町分区（分区長 芹澤伸行）で社員の加入を募っています。日本赤十字社は5月を中心に「赤十字社員増強運動」を実施しており、赤十字の目的や事業に賛同し、社員として加入を希望される方は年間社費500円（一世帯）。（期限7月31日）

●会員募集! 「きれいな水を守る会」

函南町「きれいな水を守る会」（会長 福間 晃）で平成20年度の会員を募集しています。同会は函南町の湧水および河川の水質保全の啓蒙活動を行っており、町からの20万円の委託金と会員の会費を活動資金にしている。

加入は任意。会費は年間200円（一世帯）

（期限7月31日）

※窓口はすべて管理センター